



談話室

作業者と労働環境を守る仕事 ～作業環境測定士の楽しさ～

小梶真由子



琵琶湖の畔で：『作業環境測定（士）って？』

ひこにゃんで有名な滋賀県は日本最大の湖、琵琶湖を有する、自然豊かな所です。また、大都市への交通網も整い、数人～千人規模まで沢山の工場があります。私はそこで生まれ育ち、少し前まで環境分析の仕事をしていました。環境分析といえば、水（飲料水・排水）、排ガス、臭いの分析……。特に、臭いは人の感覚を使った試験。生物を学んだ私には、一番面白い分析です。皆様は、『作業環境測定（士）』はご存知ですか？「労働安全衛生法に基づき、指定作業場について作業環境測定の業務を行う（者）」です。今回は、『作業環境測定士』のひとりとしてモノ作りを支える労働安全衛生の大切さと、それを見守る測定士の仕事について紹介したいと思います。

作業環境測定士の特権：『一番近くで、工場見学!!』

最近、工場見学の人気が高く、テレビやゲームでも、製造現場が取り上げられます。皆様お好きですか？私は大好きです。真っ赤な溶解炉（金属・粉じん）、紡織機（騒音）、膨らむウレタン（特化物）、塗装（有機溶剤）。日本には、そんな現場で働く人を守り、安全で健康・快適に仕事をして頂く法律があります（労働安全衛生法など）。私達、測定士は、現場に出向き、作業者の側で空気や音を調べ（作業環境測定）、現状を把握してもらい、時には現場改善のお手伝いをします。

測定士は、一般人の中で誰よりも近くでモノ作りを見学できます。大量生産、消費される製品でさえ、現場では「こんなことも!」「ヒトってすごい!!」と吃驚するぐらい、手がかかっています。いくつか例を紹介します。

- ・「ガンダムが歩いている!?!」と思うような衝撃で、金属板が形を変えていくプレス機の調整や監視。
- ・ゴム製品のブランド刻印。小さな欠けを見逃さず、一つ一つすべて検品し、削って、丁寧に補修。

私達が手にしているモノは、本当に沢山の人の手を経て、届きます。今度、製造現場を見る際は、ぜひ、素晴らしい機械の側で活躍する人達にも注目して下さい。

沢山の人が関わってできあがるモノだからこそ、「大切にしたい」。現場で作業される方には、「安全に作業して頂きたい」。そんな想いに共感して頂ければ、と思います。

生物と労働安全衛生：『どんな作業をしていますか？』

産業界では、現在5万種類以上の化学物質が使われ、毎年500種類程度増えているそうです。人により使用する量も種類も違うため、有害性や取

り扱いは、自分で学ぶことが多いと思います。「なんとなく使ってる?」でもそれ、『取り扱い注意!』かもしれません。

では、どのようにに取り扱い方を知ればよいのでしょうか？まずは、①ラベル（日本酒もワインも薬品も!）。②MSDS：化学物質安全性データシート（IUPAC・慣用名など、別名に注意!!）。研究室や職場にあり、インターネットでも簡単に調べることができます。③作業環境対象物質管理濃度一覧表（産業界で汎用される有害物質の管理濃度）。たとえば、アクリルアミド0.1 mg/m³（SDS-PAGE）、クロロホルム3 ppm（抽出作業時）、メタノール200 ppm（洗浄作業時）、ホルムアルデヒド0.1 ppm（ホルマリン固定作業時）。以上を基に、必要に応じて保護具を身につけたり、ドラフトを使用したり、取り扱いに注意してください。そして、作業環境測定を行い、現状把握してください。

作業環境測定士から：『お願い』

- ・現場のことを教えてください。
- （現場の事は、現場の方が一番ご存じです）
- ・いつも体に気をつけて作業してください。
- （苦しくないですか？排気装置は引いていますか？保護具など、お邪魔した時気がつければ声をかけますが、ちょっとした意識で健康被害は低減されます）

作業環境測定士は、現場の皆様が安全・快適に作業されることをいつも望んでいます。どうか、日常作業・業務に支障がない範囲でご協力頂き、お邪魔してない日にこそ、安全に作業して頂きたいと思います。

謝辞とあとがき：『ご安全に!!』

私は今、化粧品工場で働いています。ど真ん中から見るモノづくりは、外から見る以上にシッカリ。貴方が手にして下さったモノ、私も関わっているかもしれません。「可愛がって頂けますように」願っています。

さて、エッセイにご協力下さった、素敵な“リケジョの先輩方”、卒業後も温かく迎えて下さる福山大学関係者様、恩師とご友人、応援して頂く社外の『先生』、前職：夏原工業(株)・現職の皆様、大切な人。最後に、いつも測定に快く協力して下さい下さった各企業のご担当者様、現場の皆様はこの場を借りてお礼申し上げます。

この文書が、皆様が労働安全衛生に興味を持ち、安全に作業して頂くきっかけになれば、作業環境測定士の一人として本当に嬉しいです。

どうぞ皆様、『ご安全に!!』

